



## けがをしたあとの「かさぶた」はなぜかゆいの

### かゆいのは「かさぶた」の下

けがをすると、血が出てきます。血はすぐにかたまって傷口をふさぎ、ばい菌などが入ってくるのを防ぎます。これが「かさぶた」です。

けがをしたあとの「かさぶた」をかゆく感じるのは、かさぶたの下の皮ふの中で、けがをなおそうと、いろいろなものがはたらいっているためです。

きずができると、血はすぐにかたまって傷口をふさぎ、出血したり、バイ菌などが入ってきたりするのを防ぎます。次に、傷口から入ったばい菌などを殺すために、白血球などが集合し、傷が化のう（うむ）するのを防ぎます。そして、傷口をなおして元通りにするために、皮ふは新しい細胞をどんどんつくります。傷口がふさがって傷がなおると、「かさぶた」は自然にとれていきます。

### 「かさぶた」は、あわててとらないようにしましょう

傷がなおるまえに、かさぶたをとると、また、血が出てきて、ばい菌が入りやすくなってしまいます。自然にはがれるまで、待ちましょう。（監修・保志 宏）

